

第4回

京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和2年2月27日（木）午後5時～
京都府職員福利厚生センター会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

- ・今後の大規模イベント対応等について

3 閉 会

第4回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和2年2月27日

所 属	職 名	氏 名
	知 事	西脇 隆俊
	副知事	山内 修一
	副知事	山下 晃正
	副知事	舟本 浩
	企画理事	松本 均
	企画調整理事	本永 治彦
知事直轄	知事室長	岡本 吉弘
知事直轄	職員長	番場 靖文
知事直轄	会計管理者	平井 裕子
危機管理部	危機管理部長	藤森 和也
危機管理部	防災監	坂本 昌也
総務部	総務部長	勝目 康
政策企画部	政策企画部長	稲垣 勝彦
府民環境部	府民環境部長	大谷 学
文化スポーツ部	文化スポーツ部副部長	田中 圭一
健康福祉部	健康福祉部長	松村 淳子
商工労働観光部	商工労働観光部長	鈴木 一弥
農林水産部	農林水産部長	沼田 行博
建設交通部	建設交通部長	富山 英範
府議会	事務局長	太田 稔治
監査委員	事務局長	金谷 宗子
人事委員会	事務局長	中本 晴夫
労働委員会	事務局長	磯崎 弘規
教育委員会	教育長	橋本 幸三
警察本部	警察本部長	植田 秀人
山城広域振興局	局長	川口 龍雄
南丹広域振興局	局長	前川 二郎
中丹広域振興局	局長	綾城 義治
丹後広域振興局	局長	中野 孝男

令和2年2月26日
新型コロナウイルス感染症対策本部(第14回)



発言する安倍総理 1



令和2年2月26日、安倍総理は、総理大臣官邸で第14回新型コロナウイルス感染症対策本部を開催しました。

会議では、新型コロナウイルス感染症への対応について議論が行われました。

総理は、本日の議論を踏まえ、次のように述べました。

「今が正に、感染の流行を早期に終息させるために、極めて重要な時期である。こうした考え方の下、昨日、政府として、対策の基本方針を決定しました。その中で、イベント等の開催について、現時点で全国一律の自粛要請を行うものではないものの、地域や企業に対し、感染拡大防止の観点から、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、開催の必要性を改めて検討するよう要請したところ。その上で、政府といたしましては、この1、2週間が感染拡大防止に極めて重要であることを踏まえ、また、多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間は、中止、延期又は規模縮小等の対応を要請することといたします。感染拡大の防止に万全を期するため、引き続き、今後の感染拡大の動向を注視しながら、万全の対応を行ってまいります。

また、水際対策については、国内への感染者の急激な流入を防止する観点から、現行の入国制限、渡航中止勧告等は、引き続き実施することとしております。昨日、韓国における新型コロナウイルス感染者の急増等の状況を踏まえ、韓国の大邱（テグ）広域市及び慶尚北道清道（チョンド）郡に対して、感染症危険情報レベル2を発出し、これらの地域に対する不要不急の渡航を自粛するよう呼び掛けております。韓国政府も、同地域を感染症特別管理地域に指定し、感染症危機情報を最高段階に引き上げています。そこで、現地における各種状況を踏まえ、当分の間、入国の申請日前14日以内に韓国の大邱広域市及び慶尚北道清道郡に滞在歴のある外国人については、特段の事情がない限り、入管法に基づき、入国拒否の措置を講ずることといたします。今後手続きを進め、明日2月27日午前0時から効力を発生させるものとします。

各位にあつては、引き続き、基本方針を踏まえ、地方自治体、医療関係者、事業者、そして国民の皆様と一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策を更に進めていくよう、お願いいたします。」

当面中止を決定した府主催大規模文化・スポーツイベント

イベント名称	開催日時	対象	人数	開催場所	備考(共催団体名等)
ARTISTS' FAIR KYOTO2020	2月29日～3月1日	府民等	計5,000人	京都文化博物館・京都新聞ビル	主催:ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会 共催:京都新聞 (実行委員会に府含む)
京都のええもん市	3月3日	一般府民等	600名程度	ANAクラウンプラザホテル京都	主催:京都府、(公財)京都産業21、(一社)京都農業会議 共催:京都府商工会連合会
天皇陛下御即位記念 天皇盃 第31回全国車いす駅伝 競走大会	3月7日～3月8日	全国車いす 陸上選手、 ボランティア 府民等	5000人	グランドプリンスホテル京都、 国際会館～西京極運動公園	京都市、(社)京都障害者スポーツ振興会 他
ポケットマルシェ in けいはんな記念公園 34th	3月7日～3月8日	一般府民	6000人～8000人 ／日	関西文化学術研究都市記念公園	指定管理者自主事業 共催:ポケットマルシェ実行委員会
京都・和食の祭典	3月7日	観光客等	1万人(見込み)	西本願寺	日本料理文化博覧会実行委員会(府、京都市、京都商工会議所、商工会議所連合会、日本料理アカデミー等)
京都府庁こだわりマルシェ	3月8日	一般府民	800～1200人	京都府庁旧本館	マルシェ実行委員会主催

京都文化博物館等の対応について

施設名	期間	内容
京都文化博物館	2月28日(金)～3月16日(月)	閉室(2階総合展示室、3階フィルムシアター)
堂本印象美術館	2月28日(金)～3月16日(月)	休館

新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

【報道】 令和2年2月27日朝時点

○世界での発生状況

	中国	香港	マカオ	台湾	タイ	韓国	米国	ベトナム	シンガポール	フランス	オーストラリア	マレーシア	ネパール	カナダ	カンボジア	スリランカ	ドイツ	アラブ首長国連邦	インド	フィリピン	フィリピン	英国	イタリア
患者	78,064人	91人	10人	32人	40人	1261人	59人	16人	93人	18人	23人	22人	1人	10人	1人	1人	23人	13人	3人	3人	1人	13人	400人
うち死亡	2,715人	2人	0人	1人	0人	12人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	12人

	スペイン	スウェーデン	ロシア	ベルギー	エジプト	イラン	クウェート	オマーン	レバノン	パレーン	アフガニスタン	イラク	オーストリア	クロアチア	スイス	アルジェリア	ギリシャ	ブラジル	ジョージア	ノルウェー	北マケドニア	イスラエル	日本	合計
患者	10人	1人	2人	1人	1人	139人	26人	4人	2人	26人	1人	5人	2人	3人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	190人	80,620人
うち死亡	0人	0人	0人	0人	0人	19人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	2,767人

(注)中国の患者数は、湖北省で2月13日から19日までは臨床診断により認められたものも含む
※国籍別ではなく、患者・死亡者が発生した場所(国)別に集計している
※中国の死亡者には、日本人1名を含む

○国内での発生状況

	北海道	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	石川県	長野県	岐阜県	愛知県	三重県	京都府	大阪府	奈良県	和歌山県	徳島県	福岡県	熊本県	沖縄県	その他※	チャーター便	合計
患者	39人	1人	1人	13人	35人	18人	4人	2人	1人	25人	1人	2人	1人	1人	13人	1人	2人	5人	3人	8人	14人	190人
うち死亡	1人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人

※中国へ帰国後陽性が判明した者1名、厚生労働省職員や検疫官など7名

○横浜港に到着したクルーズ船での発生状況(令和2年2月26日時点)

新型コロナウイルスの陽性が確認されたのは、延べ4,061名中 705名(うち、死亡4名、無症状病原体保有者392名)
(なお、本件はWHOによる各国発生状況の報告において、日本国内の発生件数とは別個(その他)の件数として取り扱われている。)

ダイヤモンド・プリンセス号を下船された方の 健康フォローアップについて

1 下船者の概要

下船日	人 数	うち京都市	フォローアップ期間 (※)
2月19日	4	2	令和2年3月4日
2月20日	12	8	令和2年3月5日
2月21日	4	4	令和2年3月6日
計	20	14	

※下船されてから14日間が経過するまで

【内訳】

男性 10名 (40歳代:1名、60歳代:5名、70歳代:4名)

女性 10名 (40歳代:1名、50歳代:1名、60歳代:7名、70歳代:1名)

2 健康フォローアップ

(1) 主な内容

- ・ 保健所から、電話等により毎日健康状態を聴取
- ・ 症状が出た場合の報告要請及びその場合の発症時期等の聴取
- ・ 不要不急の外出自粛要請、周囲と接触する場合のマスクの着用、長時間の接触を避けるよう勧告
- ・ 咳エチケット及び手洗いの励行を勧告
- ・ 公共交通機関の利用自粛勧告
- ・ 本人の健康状態を検疫所及び国の健康フォローアップセンターへ連絡

(2) 現在の状況

2月26日現在で、全ての方に体調の変化はありません。

京都府内における新型コロナウイルス感染症に係る検査及び相談の実施状況について

【検査実施状況】（2月26日検査結果判明分まで）

	京都府・京都市 合 計	国立感染症 研 究 所
検査人数	78人	1人
陽 性	1人	1人
陰 性	77人	0人

【専用相談窓口の受付状況】（2月26日まで）

	府 庁		保健所	備考	
1月29日～2月17日	896件		485件	日平均	約69件
2月18日～2月26日 (24時間対応開始後)	947件		463件	日平均	約157件
時間帯	8:30～17:15	17:15～翌8:30	8:30～17:15		
2月18日(火)	57件	23件	99件	小計	179件
2月19日(水)	54件	33件	67件	小計	154件
2月20日(木)	55件	31件	41件	小計	127件
2月21日(金)	64件	31件	61件	小計	156件
2月22日(土)	48件	32件	3件	小計	83件
2月23日(日)	62件	43件	4件	小計	109件
2月24日(祝)	76件	58件	3件	小計	137件
2月25日(火)	102件	53件	102件	小計	257件
2月26日(水)	90件	35件	83件	小計	208件
合計	1,843件		948件	合 計	2,791件

主な相談内容： 発熱、咳等の症状はあるが中国に係る渡航歴・接触歴がない場合の受診
 海外出張から帰国したときの検査の希望
 会社や社会福祉施設等で感染者が発生した場合の対応
 イベント開催中止の要否

学校における対応状況

政府の基本指針を受け、文部科学省から示された方針に基づき、各市町教育委員会及び府立学校に対し、コロナウイルス感染症が発生した場合の対応や卒業式等の学校行事開催に関する考え方について通知

1 児童生徒等に感染症が発生した場合の対応について

○児童生徒本人が感染した場合

学校の一部又は全部の臨時休業を速やかに行うこと

○児童生徒が感染者の濃厚接触者に特定された場合

濃厚接触した日から起算して2週間の出席停止の措置を執ること

○発熱等の症状がある者を休ませる指導の徹底

○以上の対策は、教職員についても一層厳格に対応

2 卒業式などの学校行事開催に関する考え方について

感染拡大防止の措置を執るとともに、実施方法の工夫をすること

○感染拡大防止措置

- ・風邪のような症状のある方には参加しないよう徹底
- ・参加者への手洗いや咳エチケットの推奨、可能な範囲でアルコール消毒薬の設置
- ・こまめな喚起の実施

○可能な限りの時間短縮と在校生の参加を最小限に抑える等の工夫

- ・送辞を担当する児童生徒など最小限の参加
- ・CD等による対応が可能であれば吹奏楽部の演奏を取りやめ
- ・祝辞は全て配布又は掲示
- ・参加者間のスペースを確保

○卒業式後について

- ・在校生による「卒業生を送る会」等はできるだけ簡素化
- ・保護者は教室への入室を遠慮いただくか短時間になるよう依頼